第44号

郵政産業ユニオン TOKYO・NEWS

2016年4月1日

●発　行●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　鵜島　一広
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

人増やせ！給料上げろ！

ゼロ回答にストライキ　東京＝銀座・晴海

賃金引上げ、正社員化と均等待遇、増員などを求めてたたかっている16春闘は3月17日、会社の「最終回答」＝ベアゼロを受けて、18日にスト実施を通告。3月23日、24日の両日に全国でストライキで抗議、有額回答を求めました。

会社は、私たちの切実な要求に対し、賃上げ・時給引き上げにゼロ回答を示しました。これは、低額でしたが2年連続の有額回答と8年連続で実施されてきた月給制社員の賃金引上げを断ち切るもので許されません。私たちの賃金は、年々減りつづけ生活水準は低下しているなかで社員とその家族の生活を維持するためにも賃上げ、時給引き上げは必至です。

また、人手不足による長時間過密労働は、ただ働きや休憩時間未取得の労基法違反と労働災害を引き起こしています。利用者にとってもサービス低下となり、深刻で危機的な事態となっており、人員不足の解消は急務です。

俺たちが変える

非正規もストライキで決起

支社は組合に「期間雇用社員は1000人不足している」と言明しました。しかし、「募集しても集まらない」「すぐに辞めてしまう」と人員不足解消に何の手だてを行うことなく、労働者のただ働きと残業にたよるだけです。

「超勤にたよらない業務量を」「昼休みは休ませて」との労働者の切実な声は「贅沢」なのでしょうか。このような労働環境を改善しない限り人は集まりませんし、事業の信頼も低下するだけです。

会社のゼロ回答に抗議し前向き回答を求める労働者の声とストライキは正当です。

今回のストライキは、全国23職場で波状的に取り組まれ、86名が参加しました。なかでも、「ストライキに参加したい」と組合加入を申し込む非正規労働者も現れるなど非正規社員の組合員28名がストライキに参加したことは、異常な「職場を変えたい」との切実で強い思いの現れです。

東京では、銀座支部、晴海支部がストライキを行いました。銀座郵便局前集会では各支部代表が「人が足りない」と都内の深刻な人手不足を告発し、たたかいの必要性を共有しました。本社前で行われた集会には、全労連、全労協など200名の支援者が集まりストライキを激励、たたかう決起の場となりました。